

静原小

学校通信

6号

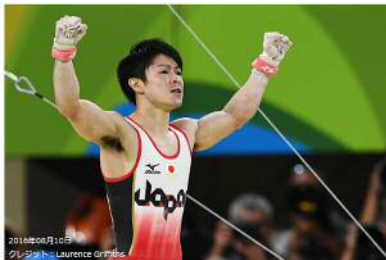
平成28年9月1日

京都市立静原小学校
校長 林 久徳

オリンピックを通して学んだこと

校長 林 久徳

先日幕を閉じたりオデジャネイロオリンピック。そして次は東京大会ということで、とても大きな話題となり、また、その中での日本選手の大活躍に日本中が大きく盛り上がりました。テレビにくぎ付けになり、やや寝不足の方が増えたのではないのでしょうか。日本選手が大きな成果を出すたびに、そこに至る数々のエピソードが紹介されました。



体操男子団体での金メダル獲得、そして2連覇した個人総合では「疲れ切りました。出し切りました。もう何も出ないところまで出し切って獲れたので、うれしいよりも幸せです」自分の力を出し切ることの素晴らしさを教えてくれました。

平泳ぎの金藤選手は「(北京五輪からの8年について) いろんな8年間だったんですが…。加藤コーチの支えだけではなく、一緒に練習してきた仲間だったり、戦ってきた平泳ぎの選手だったり、家族だったり、あとは…加藤コーチの家族にも応援してもらえて、だからこそ、私も加藤コーチもこうやって頂点を狙ってやってこれたのかなと思います」一度はあきらめかけた道を多くの人に支えられ、頑張り続けてこられたことへの感謝の気持ちがあふれるコメントでした。

メダルを逃し続けてきたシンクロ。毎日12時間プールでの練習、それ以外の時間のトレーニングや食事、普段の生活もすべてをかけてメダル奪還のために地獄のような練習に励んだそうです。「全ての時間をシンクロのために費やしたことで、選手たちは戦える心と体になっていた」と井村コーチは話されたそうです。

そしてこのシーン。陸上女子5000メートルの予選で転倒した2選手。先に起きたアビー・ダゴスティノ(米国)が「立って。ゴールに向かおう」と声をかけ、泣いていたニッキー・ハンプリン(ニュージーランド)を抱き起こした。ところが、足を痛めたダゴスティノが崩れ落ち、今度はハンプリンが手を貸す。2人はゴールした後抱き合い、ダゴスティノは車いすで引き揚げました。この助け合う姿が、「真のオリンピック精神」「スポーツマンシップを見せた」と報道などでたたえられています。

勝負に勝つことは大切です。また、楽しかったというコメントも素敵でしょう。でもそこに至る日常にこそ大切な努力のあることを子どもたちに気付いてほしいと思います。

夏の体験学習 <1>



自転車教室

1年生から6年生まで子どもたち全員で下鴨警察署の方にお世話になって交通安全教室を行いました。主に自転車の正しい乗り方を教えていただきました。道路を想定したコースで、安全確認をきちんと行い、正しく自転車に乗ることはなかなか難しいことですが、命にかかわる大切なことなの

で、子どもたちも真剣に取り組んでいました。4年生以上は実技テストと学科テストを行い、それぞれの到達度に応じて免許証が発行されます。これをきっかけに、安全に対する意識が向上することを願っています。

静原川水質調査

静原川にいる生き物から、水質を確かめます。



生き物の説明もしていただきますので、生き物にも親

しみがわいてきます。サワガニの雄雌やつかみ方、卵を育てる様子など教えていただきました。たくさんの生き物を分類して説明していただきました。今年は、アジメドジョウが見つかりました。ヘビトンボの幼虫もいました。サワガニもつかめるようになりました。



国際理解 (イタリア)

夏休みの取組、イタリアの方をお招きして、イタリアのことを教えていただきました。静原校には石窯があり、本格的にピザを焼くことができました。ピザは、マルゲリータが主流だそうです。楽しくお話をしながらイタリア料理を作りました。ニョッキも作りました。



ジャガイモをマッシュして

小麦粉を混ぜて湯に通します。ミートソースと混ぜて出来上がりです。イタリアでは、子どもと一緒にニョッキを作るそうで、マッシュポテトと小麦粉を混ぜて練ったものを粘土細工の蛇のようにして、適当な大きさに切っていく作業が手作りの楽しい部分だそうです。ピザとあわせて、おいしくいただきました。トマトたっぷり、イタリアらしいメニューです。



夏の体験活動＜2＞

社会見学（京都鉄道博物館・京都水族館）



鉄道博物館では、電車の足こぎ体験、昔の駅、鉄道の歴史、ジオラマなど興味いっぱいです。楽しく見学できました。模型と本物と対比もできました。

水族館では、静原川にいる魚「タカハヤ」「アマゴ」も見られました。過去に静原川にアマゴ、イワナを放流したことがあります。アマゴの模様は独特で、きれいです。イルカショーも楽しく見ることができました。

飯ごうすいさん会（トマトを使って）



飯盒でご飯を炊きます。トマトピラフも作りました。洗ったお米とウインナー、コンソメ、トマトを入れて、鍋で炊きました。かまどで火をつけるために、すぎ葉を集めてきて、最初の火おこしに使いました。かまどをしっかりとうちわであおいで空気を送り込みました。トマトと卵の入った「トマタマスープ」も作ります。トマトたっぷりのカレーも作りました。トマタマスープとトマトピラフ、トマトたっぷりカレーをおいしくいただきました。

お話わくわく

夏休みの特別読み聞かせ、ブックトークです。言葉遊びに関係のある本でストーリーができていました。しりとり、回文、なぞなぞ、早口言葉など楽しく時間が過ぎていきました。

言葉遊びをすると今まであまり使わなかった言葉を使ったり、自分の知らない言葉を吸収したりできます。聞くだけでなく、積極的な発表場面もありました。



卓球教室

1年生も参加しての練習会です。初めての体験ですが、頑張って練習しました。

タグラグビー教室

ボールを持つての鬼ごっこのようなものです。ボールを持っていくところが決まっています。持っていく方と阻止する方とに分かれてゲームをします。難しいボール扱いはあまり必要ありません。ボールをもってつかまらないように相手陣地に行けばいいだけです。見方にパスをするので、見方が捕りやすいようにパスしなければなりません。ですから、受け取る側に



難しいボールは基本的には来ません。味方同士のつながりも感じながら楽しくゲームができました。



バレーボール教室

ボールに親しむ練習、レシーブ練習、サーブ練習など丁寧に練習しました。

サイエンス教室



自然現象のふしぎを確かめます。色の不思議を探りました。実際に試してみても、なるほどと思う面白さを実感できました。身近なことを科学的に考えることや気が付かないで見過ごしていることに「なぜかな」と目を向けるきっかけになったと思います。

落語教室

毎年、落語に親しんでいます。聞いたことのある話もありますが、毎年楽しく聞いています。



夏の体験活動<3>

水泳学習

夏休みも、学校で練習を続けると泳力が上がります。息継ぎがきっちりできるように、水中にしっかり息を吐くことがカギとなります。

ラジオ体操

夏休み前半と後半に分かれての5日間ずつですが、朝から元気よく参加していました。ラジオ体操をしっかり覚えようとする姿も多く見られ、上手になってきました。



みるく教室

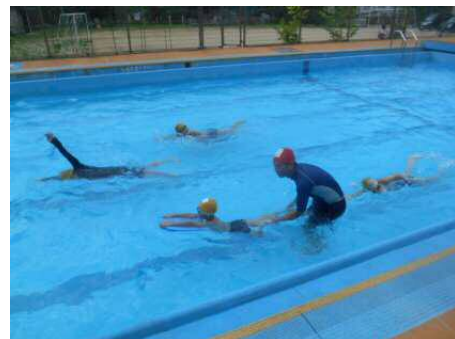
乳牛について、牛乳ができるまでのことを教えていただきました。感謝していただく事もよくわかりました。バター作りもしました。容器に入れて、牛乳20mlを2分間一生懸命ふり、あと少し振って、バターとバターミルクに分離しました。ミルクは牛乳のような味でした。できたバターは無塩バターです。塩のついたクラッカーにつけて試食しました。

楽しく学習できたので、感想を1回言って終わりではなく、2回も言う児童もいました。

草木染め

地域の方にお世話になり、草木染めを実施しました。絞り染めをする為の絞りをして、煮汁につけて染めていきます。30分ほど煮込みます。今年は3種類用意していただきました。玉ねぎの皮、ウコン、アカネでそれぞれ違う色になります。定

着液につけたり、水洗いをしたりの作業をして、乾かして世界に一つだけの模様が出来上がりました。



静原地域夏行事（魚つかみ・夜店・盆踊り）



毎年の事で、魚つかみは学年が上がるにつれて要領を得てきます。夜店はPTA、地域の方々が、児童に楽しいひと時をとの



思いで実施されています。盆踊りは、音頭取りの方々に来ていただき、生の演奏で実施されました。たくさんの方々が来られ、にぎやかな時間となりました。

学習タイム（自学自習）

夏休みも、体験学習の前に、宿題をやったり、自



分の課題に向かって学習をしたりする時間を設定しています。自分であることを決めてちゃんと準備をしてやってきます。準備～後始末まで自分で、管理してできることは大事なことです。



PTAキャンプ（防災キャンプ？）

子どもたちが楽しみにしているPTAキャンプです。キャンプファイヤーやきもだめし、友達と一緒に学校で一晩を過ごすことは、わくわくすることです。そのような中でも、体育館にテントを張って一定のプライバシーを保ちながら過ごすことや野外炊事場の窯を使って調理することもあります。朝食のようにご飯を炊いて、スー



プと一緒に簡単に食事するのは「炊き出し」でもあります。昨年度、警報発令で、静原校にも住民の方が避難されてきて、一晩ではありますが過ごされています。避難所とまではいきませんが、そのような日がありました。PTAキャンプでの活動は、避難所生活をしていくための練習にもなるものでした。あつてはならないことですが、備えておくことや意識しておくことは重要なことです。

